

## はじめに

茨城大学人文社会科学部・人文社会科学研究科の2019年度「年報」が発行の運びとなりました。大学内外の皆様、私たちのさまざまな取組みの状況を知っていただく一助となれば幸いです。

2017年度に現代社会学科・法律経済学科・人間文化学科で構成される「人文社会科学部」を設置し、今年度で3年目を迎えました。文系総合学部の存在意義を確認するとともに、人材育成を強く意識した学部の編成とカリキュラム構築をし、すべての学生がメジャー（主専攻）とサブメジャー（副専攻）を必ず履修します。

大学院は、文化科学専攻と社会科学専攻から構成され、後者では現職地方公務員・地方議員を対象とする、地域政策研究（社会人）コースを開設しています。

本学部・研究科には、茨城はもちろんのこと全国から大きな期待があります。たとえば、『日本経済新聞』（2017年8月21日）の社説で、以下のように取り上げられました。

「茨城大も今春、地域貢献をめざして人文社会科学部を新設した。学生に複数の専攻を持たせ、視野の広い人材を育てる。文科省は少子化に対応して人文系学部の縮小を求めているが、先手を打って大学自身が改革に乗り出した」（「大学をどう変える(下)強みを伸ばし自ら将来像描こう」）。

3年目となり専門科目も本格的に開講され、こうした期待に応えられるよう取り組んでおり、徐々に成果も出てきました。これからも改革を進める一方で、取組みや成果をその時々自ら確認する作業が不可欠です。本学部では「年報」を作成し、学部ホームページにも掲載しています。年報が対外的な情報公開ツールとしてだけでなく、学部・研究科内でも大いに活用されることを期待します。

最後になりましたが、今回も編集作業に携わっていただいた人文社会科学部点検評価委員各位に感謝申し上げます。

2020年9月

茨城大学人文社会科学部長・人文社会科学研究科長  
内田 聡